PTZカメラ

ICSD-AH620H

設置·設定説明書

Version 1.00 対応製品バージョン: 3.60



- この度は、PTZ カメラをお求めいただきありがとうございます。
- 本機をご使用の前に、この設置・取扱説明書をお読みいただき、製品の機能や操作法について、+
 分ご理解いただいた上で、正しく使用していただきますよう、お願い致します。
- この設置・取扱説明書は、後で確認できるよう、分かりやすい場所に保管してください。
- コントローラ・DVR 等本機を制御する機器の説明書もお読みいただくようお願い致します。

機器を安全に使用するために

これらの情報は、お客様が製品を正しく使用し、身体の危険や経済的損害を回避できるようにすることを目的としています。

これらは「警告」と「注意」に分かれています。



これらの警告のいずれかを無視すると、重傷または死亡を引き起 こす可能性があります。 深刻なケガや死亡を防ぐために、これらの安全対策に従ってくだ さい。

- 電気用品安全法(PSE)規格に適合する直流電源装置を使用してください。電源装置に必要とされる定格については、仕様書を参照してください。電源装置の定格出力電力は本機が必要とする値よりも大きくなければなりません。
- 1つの電源アダプターに複数の機器を接続しないでください。アダプターの過負荷が原因で過熱し、 火災が発生する可能性があります。
- 本機を壁や天井に設置する場合は、しっかり固定してください。
- 火災や感電の危険を軽減するため、屋内用の製品を雨や湿気にさらさないでください。
- 本機の設置は十分な技量を持つサービス担当者が行う必要があり、地域の全ての規制に準拠する必要があります。
- 本機が正常に動作しない場合は、販売店または弊社にお問い合わせください。お客様自身で本機を 分解しないでください。(無断での修理・整備等により生じたトラブルについては、弊社は一切責 任を負いません。)
- 本機を人や車両が触れる位置に設置しないでください。衝突すると大変危険です。
- 本機をブラケットに取り付ける場合、付属のネジでしっかり止めた上で落下防止用のワイヤーも取り付けてください。



これらの注意事項のいずれかを無視した場合、ケガや機器の損傷 を引き起こす可能性があります。 ケガや物的損害の可能性を防ぐために、これらの注意事項に従っ てください。

- 本機を使用する前に、電源装置の電圧と極性が正しいことを確認してください。
- 本機を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。また、振動する面や場所(車両・船舶・ 航空機・振動の多い工事現場等)に本機を設置しないでください。
- 本機を強い電磁放射環境にさらさないでください。
- レンズを太陽や白熱灯などの強い光に向けないでください。強い光は本機に致命的な損傷を与える可能性があります。
- センサーはレーザー光線により焼損する可能性があるため、レーザー機器を使用する場合は、セン

サーの表面がレーザー光線にさらされないようにしてください。

- 本機を極端に高温、低温、ほこりの多い場所、湿った場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。動作温度の詳細については、仕様を参照してください。
- 適切な動作環境のために熱の蓄積を避けるには、良好な換気が必要です。
- 輸送中、本機は元の梱包材で梱包する必要があります。
- 製品カバーを開けるときは、付属の手袋を使用してください。製品カバーの表面コーティングが指の酸性汗によって浸食される可能性があるため、製品カバーを直接指で触れないでください。
- 製品カバーの内面および外面を清掃するときは、乾いた柔らかい布を使用してください。アルカリ 性洗剤は使用しないでください。
- バッテリーの不適切な使用または交換は、爆発の危険をもたらす可能性があります。メーカーが推 奨する種類のバッテリーをご使用ください。

凡例

この取扱説明書では、次表の表現を用います。

凡例	説明
本書	この取扱説明書を示します。
大楼	この取扱説明書が説明書の対象としている機種の機器を示します。(機種の型番は表
771/2	紙に記載)
▲ ↓ ♦	メニュー操作の図の中で、上下左右方向ボタンを使用する操作の前後の状態を示す
▼ ▼	場合に使用します。矢印の向きが操作するボタンの方向と「前→後」関係を示しま
先の太い矢印	す。
$\leftarrow \rightarrow \downarrow \uparrow$	メニュー操作の図の中で、アイリス「開」ボタンを使用する操作の前後の状態を示
•	す場合に使用します。矢印の向きが「前→後」関係を示します。
先の細い矢印	
	メニュー操作の図の中で、上下左右方向ボタンを使用する操作の前後の状態を示す
	場合に使用します。矢印の同さがホタンの方向を示し、フロック矢印の同さが
ブロック矢印内	「前⇒後」関係を示します。
に先の太い矢印	
焦点	メニュー拇作の図の中で フォーカス 遠 近 ボタンを使用する拇作の前後の状能を
	- ニュー ネロション - ビンター スン 陸 四 ハンション - シネロション - ビンター スン 陸 四 ハンション - シネロション - シャク キロの向きが「前⇒後」関係を示します
ブロック矢印内	
に 焦点 表示	

機器を安全に使用するために	
凡例	
目次	
1. 概要	
1.1. 説明	
1.2. 機能	
2. はじめに	
2.1. ケーブルの接続	
2.2. ディップスイッチの設定	9
2.2.1. スイッチの機能	
2.2.1.1. RS-485 ポートのアドレス設定	
2.2.1.2. RS-485 ポートのボーレート(通信速度)設定	
2.2.1.3. RS-485 プロトコルの設定	
2.2.1.4. ビデオ出力の設定	
2.3. 通電時の動作	11
2.4. 基本操作	
2.5. システム定義プリセット	
2.6. オンスクリーン表示	
3. メニュー操作	
3.1. メニューを表示させる方法	
3.2. システム情報の表示	
3.2.1. システム情報の表示	
3.3. ドーム設定	
3.3.1. システムの設定	
3.3.1.1. 表示設定	
3.3.2. カメラの設定	
3.3.3. LED パラメータ設定	
3.3.4. モーション設定	
3.3.4.1. 撮影制限範囲の設定	
3.3.4.2. 撮影制限範囲の削除	
3.3.5. プリセットの設定	
3.3.5.1. プリセット位置の登録と変更	
3.3.5.2. プリセット削除	
3.3.6. パトロール機能の設定(別名:ツアー)	
3.3.6.1. パトロールの編集(巡回先の登録と修正)	
3.3.6.2. パトロールのプレビュー	
3.3.6.3. パトロールの削除(巡回先リストの削除)	

3.3.7.	タイミングタスクの設定	
3.3.7.1	1. タスクの設定	42
3.3.7.2	2. タスクの削除	45
3.3.8.	パターンの設定(別名:トレース)	
3.3.8.1	1. パターンの記憶	47
3.3.8.2	2. パターンのプレビュー	
3.3.8.3	3. パターンのクリア	
3.3.9.	プライバシーマスクの設定	49
3.3.9.1	1. マスキング範囲の登録	50
3.3.9.2	2. マスキング範囲の削除	52
3.3.10.	ゾーン設定	53
3.3.11.	ビデオ設定	53
3.4. その	の他	54
3.4.1.	全設定の初期化	54
3.4.2.	カメラ設定の初期化	54
3.4.3.	再起動	

1. 概要

1.1. 説明

本機は、RS-485 制御と UTC 制御の両方に対応した 1080P 解像度の HD-TVI 方式の PTZ カメラです。

1.2. 機能

	< 注 意 >
0	仕様は変更される場合があります。
•	RS-485 制御と同軸制御(UTC) に対応
	本機は RS-485 と映像伝送用同軸ケーブル(BNC ケーブル)のどちらを介しても制御可能です。
•	高解像度出力
	出力映像の解像度は1080Pです。
•	制限
	本機は制限内(上下左右)で動くようにプログラム出来ます。
•	プロトコル自動適応
	本機は DIP スイッチ設定でプロトコルを選択しなくても RS-485 ポートから PELCO-D、PELCO-P、
	HIKVISION コードを受信すると、自動的に適応出来ます。
•	コントローラ制御
	本機のパン/チルト及びズーム動作は、RS-485を介して PTZ コントトローラからも制御可能です。
0	スキャンモード
	本機は、パンスキャン、チルトスキャン及びパノラマスキャンが可能です。
0	プリセットフリージング
	カメラの向きがプリセット位置に移動するときに、モニターの映像をフリーズする事が出来ます。
	これにより、ある位置から別のプリセット位置へのスムーズな場面転換が可能になります。また、
	プリセットに移動する途中で表示すべきでない範囲が映り込む事を抑制出来ます。
0	プリセット
	プリセットは、撮影位置を予め登録する機能です。プリセットが呼び出されると、本機は自動的に
	登録された位置にカメラの向きを移動します。プリセットは、追加、変更、削除、および呼び出す
	ことが出来ます。
0	ラベル表示
	プリセットタイトルのオンスクリーンラベル、パンチルト表示、ズーム、日時をモニターに表示出
	来ます。
٩	オートフリップ

手動追跡操作では、対象の被写体が本機の真下に移動する場合に、カメラは自動的に水平方向に180 度反転して、追跡の連続性を維持します。 プライバシーマスク
 この機能は、被写体の特定の領域をマスキングして、個人のプライバシーが記録及びライブ表示されるのを防ぐ事が出来ます。
 マスクされた領域は、パンおよびチルト機能による移動と、レンズのズーム機能による望遠および広角操作で、位置とサイズが自動的に調整されます。

- プロポーショナルパン/チルト
 プロポーショナルパン/チルトは、ズーム倍率に応じて、パンおよびチルトの速度を自動的に増減します。望遠ズーム設定では、パンとチルトの速度は広角ズーム設定の場合より遅くなります。これにより、ズーム倍率が高い場合に、ライブ表示画面上で映像が速く動き過ぎるのを防ぎます。
- オートフォーカス

オートフォーカスにより、カメラは自動的に焦点を合わせ、鮮明なビデオ映像を維持出来ます。

- デイ/ナイト自動切換え
 本機は、日中はカラー映像を出力し、夜間に暗くなるとナイトモードに切り替わり高品質の白黒映 像を出力します。
- スローシャッター

スローシャッターモードでは、低照明条件でシャッタースピードが自動的に遅くなり、露出時間を 延長する事で鮮明なビデオ映像を維持します。この機能は有効または無効に出来ます。

- 逆光補正/ワイドダイナミックレンジ(BLC/WDR)
 明暗差の強い被写体では、明るい部分は白飛びし、暗い部分は黒潰れして、被写体の輪郭が見えなくなる場合があります。そのような場合に、ダイナミックレンジを圧縮して全体が見えるように補正する機能です。(本機はWDR 機能のみをサポートしています)
- ホワイトバランス(WB)
 ホワイトバランスは、環境に応じて色温度を自動調整するカメラの白色補正機能で、不自然な色かぶりを取り除くことができます。
- パトロール(ツアー)
 パトロールはプリセット位置を登録した順序で巡回する機能です。速度と停留時間はステップ毎に プログラム可能です。
- パターン(トレース)
 パターンは、パン、チルト、ズーム、およびプリセット機能を連続して記憶させたものです。デフ オルトでは、パターンが記憶されている間は、フォーカスとアイリスは自動状態です。

タイミングタスク
 タイミングタスクは、事前に登録した動作を特定の日時に自動的に実行出来ます。プログラム可能な動作には、パンスキャン、パトロール 1~8、パターン 1~4、プリセット 1~8、パノラマスキャン、チルトスキャン、デイ、ナイト、無しがあります。

 パークアクション
 この機能では、何も操作しない状態が一定期間続いた後、事前に登録された動作を自動的に開始出 来ます。

2. はじめに

2.1. ケーブルの接続

本機の上部からは次の図のようなケーブルが出ています。それぞれ正しく接続してください。接続を誤ると故障の原因になります。



番号	名称	説明
1	DC12V	 本機に付属のACアダプターからDC(直流)12Vの電源を供給します。 < 注意 > 電源には極性があります。+(プラス)と-(マイナス)を間違えると 本機は高い確率で故障します。 RS-485 とコネクターの形状が同じなので接続前に必ず端子の刻印を確 認してください。
2	RS485	本機の操作を行うための RS-485 ケーブルを接続します。(UTC 制御を利用する 場合は接続不要) <注意> RS-485 には極性があります。+ (プラス) と- (マイナス)を間違え ても故障することはありませんが、制御は出来ません。 電源とコネクターの形状が同じなので接続前に必ず端子の刻印を確認 してください。誤って電源を接続すると本機は高い確率で故障します。
3	VIDEO OUT	撮影されたビデオ映像を出力します。
4	YELLOW/GREEN	接地用端子です。

2.2. ディップスイッチの設定

本機の内部には、基本的な動作状態を決めるためのディップスイッチがあります。

<注意>

- ディップスイッチを操作する前には、本機のカバーを開ける必要があります。カバーを開ける場合は、本機が不意に動作する事を防止するため、必ず本機に対する電源供給を止めてからカバーを開けるようにしてください。
- 本機のカバーには落下防止のワイヤーがありませんので、作業を行う前に下に人が立ち入らな いように措置してください。
- 本機のカバーを開ける間は、本機に防水防塵性能はありません。周辺環境に注意し、屋外に設置している場合は、雨天時にカバーを開けないようにしてください。
- 本機のカバーを取り付ける場合は、防水パッキンに損傷がなく所定の溝に正しく収まっている 事を確認し、4本のネジを交互に均等な力で締めるようにしてください。

カバーは、左下の写真のようにカメラ裏側の4本のネジを外して取り外します。



カバーを外すと中にディップスイッチがあります、設定は次表に従ってください。



2.2.1. スイッチの機能

10個のスイッチには、次表の機能が割り当てられています。

番号	機能説明
1~5	RS-485 ポートのアドレスを設定します。
6	RS-485 ポートのボーレート(通信速度)を設定します。
7	RS-485 ポートのプロトコルを設定します。
8, 9	映像出力のビデオフォーマット(信号方式)を設定します。
10	RS-485 ポートの終端抵抗接続の有無を設定します。

2.2.1.1. RS-485 ポートのアドレス設定

RS-485 ポートアドレスは "ON" になっているスイッチのカッコ内の数字を足し算すると求める事が出来ます。

スイッチ番号(10進)	1	2	3	4	5
RS-485 アドレス	(1)	(2)	(4)	(8)	(16
0	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
1	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
2	OFF	ON	OFF	OFF	OFF
3	ON	ON	OFF	OFF	OFF
4	OFF	OFF	ON	OFF	OFF
:	:	:	:	÷	÷
31	ON	ON	ON	ON	ON

2.2.1.2. RS-485 ポートのボーレート(通信速度)設定

スイッチ番号 ボーレート	6
2400[bps]	OFF
9600[bps]	ON

2.2.1.3. RS-485 プロトコルの設定

スイッチ番号 プロトコル	7
自動適応	OFF
MAN_AD	ON

2.2.1.4. ビデオ出力の設定

スイッチ番号 映像信号方式	8	9
TVI	OFF	OFF
AHD	ON	OFF
CVI	OFF	ON
CVBS	ON	ON

RS-485 ポートの終端抵抗の設定

スイッチ番号 終端抵抗	10
非接続	OFF
接続	ON

2.3. 通電時の動作

本機の電源がオンになると、一連の自己動作テストが実行されます。パン、チルトとカメラのチェック を実行します。自己診断テストの後、以下のようなシステム情報が2分間表示されます。



~	\sim	/	\mathcal{A}	旧	ギ区	

項目	説明
SN	本機のシリアルナンバー (製造番号)。
ADDRESS	本機の起動時の RS-485 のアドレス。
COMEODMAT	本機の RS-485 ポートのボーレート(初期値:2400bps)、データビット(初期値:8bit)、
COM FORMAI	ストップビット(初期値:1bit)を含む本機の通信設定
PROTOCOL	本機の RS-485 ポートのプロトコル
FIRMWARE	ファームウェアのバージョン。
HARDWARE	ハードウェアのバージョン。
BUILD DATE	ファームウェアがコンパイルされた日付。

< 注 意 >

- 本機のアドレスとボーレートは、制御する側の機器の制御対象に対する設定と同じ値に設定する必要があります。
- 本機は、PELCO-D、PELCO-P、及び HIKVISION プロトコルに自動的に適応します。

2.4. 基本操作

本機は、DVR などの制御装置を使用して操作出来ます。このマニュアルでは、IRV シリーズの DVR から本機にアクセスする場合を中心に説明します。



番号	名称	説明
	トトナナナー	通常はカメラの向きを上下左右方向に移動します。
1	ボタン	メニュー内では、▲▼を項目の移動に使用し、◀▶をページの移動に使用し
		ます。
2	ズーム	カメラのレンズ及びデジタルズーム倍率の拡大と縮小をします。
	フォーカス (焦点)	カメラの焦点の遠近を調整します。
3		メニュー内ではプライバシーマスクの範囲設定時に、位置とサイズの指定を
		切り替えるために使用します。
		EXP MODE が MANUAL または IRIS の場合にカメラのアイリスを手動調
4	アイリス	整(微調整)出来ます。初期設定時は動作しません。
		メニュー内では「開」ボタンを OK ボタンとして使用し、「閉」ボタンをキ
		ャンセルボタンとして使用します。

2.5. システム定義プリセット

通常プリセット番号はカメラのパン、チルト、ズームの位置を登録と呼出しをするために使用しますが、 特定の機能を実行するための特別な番号として、システム定義プリセットが用意されています。 ここではこのシステム定義プリセットについて記述します。

これらのプリセットは編集できませんが、DVR 等の制御機器を介して呼び出すことで特定の命令を実行

する事が出来ます。

システム定義のプリセットを利用するには、PTZ 制御のプリセット移動機能を利用します。 詳細については、次の表を参照してください。

たとえば、プリセット99は「パンスキャンの開始」です。

プリセット99を呼び出すと、カメラがパンスキャン機能を開始します。

プリセット番号	機能
33	180° パン
34	ホームポジションに戻す
35	パトロール1
36	パトロール2
37	パトロール3
38	パトロール4
39	一時デイモード
40	一時ナイトモード
41	パターン1
42	パターン2
43	パターン 3
44	パターン 4
46	高速パトロール有効

プリセット番号	機能
92	リミット設定開始
93	リミット位置セット
94	再起動
95	メインメニュー呼出
96	スキャン停止
99	パンスキャン開始
100	チルトスキャン開始
101	パノラマスキャン開始
102	パトロール5
103	パトロール6
104	パトロール7
105	パトロール8

< 情報 >

- ホームポジションとは ANGLE ZERO で設定されている方位角 0°を意味します。チルトとズ ームは変化しません。
- 一時デイモード及び一時ナイトモードは約11秒間程度です。
- パトロールの停留時間は、通常 EDIT PATROL 表内で設定された値が適用されますが、高速パトロールが有効になっている場合 PATROLS メニューの PATROL-D TIME の値が適用されます。
- リミット設定は、システム定義プリセットで設定する事は出来ますが、解除操作はメニュー内から CLEAR LIMIT を実行する必要があります。

 参照→35ページ

2.6. オンスクリーン表示

本機は、次のオンスクリーン表示をサポートしています。これらの表示は個別にオン/オフ可能です。

名称	説明				
ZOOM RATIO	ズームの倍率を "ZXXX" の形式で表示します。("XXX" : 倍率)				
	パンとチルトの方向を "AzXXX/TYYY"の形式で表示します。				
	Az:方位名	3称			
	XXX:方位	之角			
	YYY:チバ	~ ト角			
			AzXX	XX/TYYY	
] ,		
	Az (方位名称)	XXX		
	表示	日本語訳	(方位角)		
	Ν	찬	$000 \sim 044$		
PT ANGLE	NE	北東	$045~\sim~089$	T /	
	Е	東	$090 \sim 134$		
	SE	南東	$135 \sim 179$	and the second	
	S	南	$180 \sim 224$	<	
	SW	南西	$225 \sim 269$	090	
	W	西	$270 \sim 314$		
	NW	北西	$315 \sim 359$		
				N. # .	
	• EL	い方位を表え	く 示するには AN	在 恵 > GLE ZERO を正しい方位(北)に設定する	
	必要	があります。		<u>参照→18ページ</u>	
ALARM					
TIME	「日一月一年 曜日 時:分」を24時制で表示します。				
DDESET I ADEI	設定したプリセットを呼び出した後、プリセットを設定した特定の場所に向			プリセットを設定した特定の場所に向きが移	
PRESET LABEL	LABEL 動すると、プリセット番号が表示されます。				
ZONE	<予定機能>ゾーン機能は使用しないでください。				
ADDRESS	本機の RS-485 アドレスを表示します。				
ERROR RATE	本機で受信した RS-485 信号のエラーレートを表示します。				
FAN AND HEAT	本機のファ	・ンの制御状	本機のファンの制御状態を表示します。		

3. メニュー操作

本機のメニューは全部で3階層あり、そのうち第1階層と第2階層は次の図のような構造になっていま す。この図の中に第3階層まで記述すると図が大きくなりすぎるため、第3階層は個別のページで記述 します。



3.1. メニューを表示させる方法

メニューには、次の手順で表示させます。

- 1. DVR に本機を同軸ケーブルで接続する(必要な場合は RS-485 ケーブルも接続する)
- 2. DVR で適切な PTZ 接続の設定をする (DVR の取扱説明書参照)
- 3. DVR や遠隔監視ソフトでチャンネルを選択し映像を表示する
- 4. プリセット 95 番へのプリセット移動操作をする



< 情報 >

- 本機は UTC 制御が可能です。弊社の IRV-HV8000, AT6000(N), A7000(N)シリーズから操作する場合、RS-485 ケーブルを接続する必要はありません。
- 弊社の IRV-HV8000, AT6000(N), A7000(N)シリーズから操作する場合、プロトコルは "COAX PTZ"に設定してください。
- 本機を RS-485 で操作する場合 "PELCO-D", "PELCO-P", "HIKVISION" プロトコルが利用可能 です。(自動識別)
- 弊社の IRV-HV8000, AT6000(N), A7000(N)シリーズから RS-485 で操作する事も可能です。
- 本機を DCK-200 から制御する場合、DCK-200 の全ての機能を利用したい場合、DCK-200 から 本機を "HIKVISION" プロトコルで制御してください。

カーソル移動とメニューの操作

- カーソル移動には上下方向▲▼ボタンまたはフォーカスの 遠 近 ボタンを使用します。
 ただし、フォーカス 遠 近 ボタンは、弊社 DVR 及び遠隔監視ソフトウェアの機能上直感的に操作しづらいので本書内の説明では上下方向▲▼ボタンを使用する方法で説明します。
- 次のメニューに入る場合にはアイリス「開」ボタンを使用します。

パラメータ値の変更

- 1. 対象の項目にカーソルを移動し、アイリス「開」ボタンをクリックすると、カーソルの形状が変化 します。
- 2. 上下方向ボタンで値を変更します。
- 3. 変更した値を反映するにはアイリス「開」ボタンを、変更を元に戻すにはアイリス「閉」ボタンを クリックします。カーソルは元の形状に戻ります。

カーソルの形状について(紙面表記は画面表示を白黒反転させておりますのでご注意ください)

形状	説明
	上下方向ボタンでカーソル移動が出来ます。
•	左右方向ボタンでページ移動が出来るメニューでは、左右両方に移動可能です。
4	上下方向ボタンでカーソル移動が出来ます。
₽	左右方向ボタンでページ移動が出来るメニューでは、右方向だけに移動可能です。
4	上下方向ボタンでカーソル移動が出来ます。
	左右方向ボタンでページ移動が出来るメニューでは、左方向だけに移動可能です。
	カーソル移動は出来ません。
\diamond	上下方向ボタンでパラメータ値を変更する事が出来ます。
	値は下方向▼ボタンで増加し、上方向▲ボタンで減少します。(一部逆の場合あり)

3.2. システム情報の表示

3.2.1. システム情報の表示

システム情報メニューでは、モデル、アドレス、プロトコルなど、本機のシステム情報を表示します。 このサブメニューに表示される情報は、電源投入後に表示されるシステム情報と、ほぼ同じです。

詳細については、「2.1 ケーブルの接続

本機の上部からは次の図のようなケーブルが出ています。それぞれ正しく接続してください。接続を誤 ると故障の原因になります。

番号	名称	説明
\bigcirc	DC12V	本機に付属のACアダプターからDC(直流)12Vの電源を供給します。

2	RS485	本機の操作を行うための RS-485 ケーブルを接続します。(UTC 制御を利用する 場合は接続不要)
3	VIDEO OUT	撮影されたビデオ映像を出力します。
4	YELLOW/GREEN	接地用端子です。

3.3. ディップスイッチの設定

本機の内部には、基本的な動作状態を決めるためのディップスイッチがあります。

カバーは、左下の写真のようにカメラ裏側の4本のネジを外して取り外します。

カバーを外すと中にディップスイッチがあります、設定は次表に従ってください。

3.3.1. スイッチの機能

10個のスイッチには、次表の機能が割り当てられています。

番号	機能説明
1~5	RS-485 ポートのアドレスを設定します。
6	RS-485 ポートのボーレート(通信速度)を設定します。
7	RS-485 ポートのプロトコルを設定します。
8,9	映像出力のビデオフォーマット(信号方式)を設定します。
10	RS-485 ポートの終端抵抗接続の有無を設定します。

3.3.1.1. RS-485 ポートのアドレス設定

RS-485 ポートアドレスは "ON" になっているスイッチのカッコ内の数字を足し算すると求める事が出来ます。

スイッチ番号(10進)	1	2	3	4	5
RS-485アドレス	(1)	(2)	(4)	(8)	(16
0	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
1	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
2	OFF	ON	OFF	OFF	OFF
3	ON	ON	OFF	OFF	OFF
4	OFF	OFF	ON	OFF	OFF
:	:	•••	•••	:	:
31	ON	ON	ON	ON	ON

3.3.1.2. RS-485 ポートのボーレート(通信速度)設定

ボーレート	0
2400[bps]	OFF
9600[bps]	ON

3.3.1.3. RS-485 プロトコルの設定

スイッチ番号 プロトコル	7
自動適応	OFF
MAN_AD	ON

3.3.1.4. ビデオ出力の設定

スイッチ番号 映像信号方式	8	9
TVI	OFF	OFF
AHD	ON	OFF
CVI	OFF	ON
CVBS	ON	ON

RS-485 ポートの終端抵抗の設定

スイッチ番号終端抵抗	10
非接続	OFF
接続	ON



< 注 意 >

- このメニューの情報を編集する事は出来ません。
- ここに表示される温度は、本機の内部温度です。

3.4. ドーム設定

DOME SETTINGS メニューでは、カメラの各種設定を実行します。

3.4.1. システムの設定

SYSTEM SETTINGS メニューでは、RS-485 アドレス、ボーレート、システム時刻などのシステム情報 を確認及び編集することが出来ます。

MAIN MENUS→DOME SETTINGS→SYSTEM SETTINGS





説明
"SET SOFT ADRESS" が "ON" に設定されている場合の RS-485 アドレスを選
択します。設定範囲: <u>1</u> ~255
< 注 意 >
● 変更しようとしているアドレスが、制御する側(DVR 等)の機器で制
御可能な範囲にあることを確認してから設定してください。

項目	説明
SET SOFT ADDRESS	本機に適用する RS-485 アドレスの設定方法を選択します。 OFF :ディップスイッチで設定した値が適用されます。(初期値) ON: "SOFT ADDRESS"で設定した値が適用されます。
	< 注 意 > この設定を変更すると、本機は自動的に再起動され、再起動後に設定が反映されます。
SOFT BAUDRATE	"SET SOFT BAUD"が "ON" に設定されている場合の RS-485 のボーレート(通 信速度)を選択します。設定範囲: <u>2400</u> , 4800, 9600, 19200 [bps]
	< 注 意 > 変更しようとしているボーレートが、制御する側(DVR 等)の機器で 制御可能な範囲にあることを確認してから設定してください。
SET SOFT BAUD	本機に適用するボーレートの設定方法を選択します。 OFF :ディップスイッチで設定した値が適用されます。 ON: "SOFT BAUDRATE"で設定した値が適用されます。
	< 注 意 > この設定を変更すると、本機は自動的に再起動され、再起動後に設定が反映されます。
BROADCAST ADDR	この設定が "ON"の場合、本機はアドレスの設定に関係なく、RS-485 アドレス "0"宛で送信されたコマンドを受け付けて動作します。 OFF:ブロードキャストアドレス宛のコマンドで制御出来ません。 <u>ON</u> :ブロードキャストアドレス宛のコマンドで制御出来ます。
PELCO CHECKSUM	"PELCO-D" または "PELCO-P" プロトコルを使用する場合に、チェックサムを 認識するか認識しないかを選択します。
	OFF: チェックサムを認識しません。 <u>ON</u> : チェックサムを認識します。

項目	説明
SYSTEM TIME	本機の時計の日時を修正します。左右方向ボタンでカーソル移動し、年・月・日・ 時・分・秒を選択後、上下方向ボタンで値を修正します。上下方向ボタンは▲が 増加で▼が減少になります。 最後にアイリス 開 ボタンで変更を適用します。 変更を適用せずに元のメニューに戻るには、アイリス 閉 ボタンをクリックしま す。
	Y-M-D 年 月 日 H-M-S 15 43 20 IRIS+ OK K CANCEL
ANGLE ZERO	本機には、方位角を表示する機能があり、この機能を使用する場合に0と表示す る方位を決める事が出来ます。また、この方位角は方位名称(英語略称)を表示 するための基準としても使用されます。 手順 1. メニューに入る前に予め0に設定したい方位にカメラを向ける 2. MAIN MENUS→DOME SETTINGS→SYSTEM SETTINGS→ANGLE ZERO に入る 3. その方位を0に決める場合はアイリス 開 ボタンをクリックする(中止する 場合はアイリス 閉)
DISPLAY SETTINGS	DISPLAY SETTINGS メニューに入ります。ここではオンスクリーン表示する情報を選択することが出来ます。 参照→23ページ
HEAT CONTROL	<無効> 本機はヒーターを内蔵していないので、この機能は使用出来ません。

項目	説明
FAN CONTROL	 <予定機能≥ 冷却用ファンの動作条件を決定します。 OFF:常時ファンを停止します。 HEAT:温度によって自動的にファンの動作を制御します。(初期値) ON:常時ファンを動作させます。 <!--</th-->
EIS J EVEL	EIS (Electronic Image Stabilization:電子画像安定)機能は、振動や風などによる 映像の揺れを軽減する機能です。 OFF: EIS 機能が動作しません。(初期値) ON: EIS 機能が動作します。 < 注意 >
	LIS 機能を使用すると、映像が少し入さく表示されるようになりますので、 撮影可能な画角は若干狭くなります。 <無効>
	本機では、この機能は使用出来ません。 プリセット呼出時の、フォーカス調整方法を選択します。
PRESET FOCUS	 OFF:パン・チルト・ズームがプリセット位置まで動いた後、カメラは FOCUS 設定に従って自動または手動でフォーカスを合わせる状態になります。(初期値) ON:パン・チルト・ズームがプリセット位置まで動いた後、カメラはプリセット登録時に記録した距離にフォーカスを合わせ、その後 FOCUS 設定に従って自動または手動でフォーカスを合わせる状態になります。
	く注意> この設定を "ON" にすると、オートフォーカスより早く被写体に焦点を合わせる事が出来ますが、被写体とカメラの距離が登録時と異なっている場合、正しい距離に合わせる事は出来ません。従って、駐車した自動車のように被写体の距離が常に一定ではない場合にはこの機能を使用しないでください。
PROTOCOL	<予定機能>
STATUS	設定を変更しないでください。初期値: OFF

項目	説明
DDOTCOL	RS-485 で使用するプロトコルを選択します。
	<u>AUTO MATCH</u> : "HIKVISION" "PELCO-D" "PELCO-P" のどのプロトコルでも
	本機を制御出来ます。(初期値)
TROTCOL	HIKVISION: "HIKVISION" プロトコルだけで本機を制御出来ます。
	PELCO-D: "PELCO-D" プロトコルだけで本機を制御出来ます。
	PELCO-P : "PELCO-P" プロトコルだけで本機を制御出来ます。
	RS-485 設定自動診断を実行します。
	<u>AUTO</u> :通常の状態です。(初期値)
485 CHECK	O N:設定自動診断を実行します。設定が正しくない場合、アラートが表示
	されます。エラーが無い場合は、値を"AUTO"に設定すると、自動的
	に診断を停止します。
MEMORV TIME	本機は停電復旧後、設定された時間経過後に停電前の動作状態を再開します。
	設定可能な時間は、10、30、 <u>60</u> 、180、300 [秒]です。(初期値: <u>60</u> [秒])
	同軸制御(COAXIAL CONTROL)機能を有効にすると、BNC ケーブルを介して
	ビデオ信号とともに UTC 制御信号を伝送出来ます。
	接続された映像機器が同軸制御もサポートしている場合、RS-485 接続は不要で
	す。
COAVIAL CONTROL	<u>ON</u> :同軸制御機能を有効にします。(初期値)
COAXIAL CONTROL	OFF:同軸制御機能を無効にします。
	< 注 意 >
	● RS-485 接続をしていない状態で、この設定を "OFF" にしないでくださ
	い。カメラが制御不能になります。
	同軸制御機能で使用するプロトコルを選択します。
PROTOCOL-C	<u>AUTO</u> : "HIKE-C" "PELCO-C" のどちらのプロトコルでも本機を制御出来
	ます。(HITE-C は弊社では未検証)
	HIKE-C: "HIKE-C"プロトコルだけで本機を制御出来ます。(未検証)
	PELCO-C: "PELCO-C" プロトコルだけで本機を制御出来ます。

< 注 意 >

RS-485制御と同軸制御を併用する場合、RS-485制御を終了してから同軸制御を開始するまでの
 時間及び同軸制御を終了してから RS-485制御を開始するまでの時間は、少なくとも10秒以上
 空けてください。時間が短い場合、本機は後の操作を受け付けません。

3.4.1.1. 表示設定

♦ BACK

DISPLAY SETTINGS メニューでは、カメラで撮影している映像に重ねて表示する文字情報(オンスク リーン表示)を選択することが出来ます。

MAIN MENUS→DOME SETTINGS→SYSTEM SETTINGS→DISPLAY SETTINGS



一般的な表示例



🕀 В А С К 👘

EXIT

ΟN

EXIT

項目	説明
ZOOM RATIO	<u>OFF</u> :ズーム倍率を表示しません。(初期値)
	ON :ズーム倍率を表示します。
D/T ANCLE	OFF :カメラの方位とチルト角を表示しません。(初期値)
P/I ANGLE	ON :カメラの方位とチルト角を表示します。
ΑΙΑΡΜ	OFF :アラームを表示しません。(初期値)
	ON:アラームを表示します。
TIME	<u>OFF</u> :日時を表示しません。(初期値)
	ON :日時を表示します。
DDESETIADEI	<u>OFF</u> : プリセット番号を表示しません。(初期値)
	ON :プリセット番号を表示します。
	<予定機能>
ZONE	<u>OFF</u> :ゾーンを表示しません。(初期値)
	ON :使用しないでください。
ADDRESS	OFF : RS-485 アドレスを表示しません。(初期値)
ADDRESS	ON: RS-485 アドレスを表示します。
FRROR RATE	OFF : RS-485 ポートのエラーレートを表示しません。(初期値)
	ON: RS-485 ポートのエラーレートを表示します。
	OFF:ファン動作の有無を表示しません。(初期値)
	ON :ファン動作の有無を表示します。
FAN/HEAT	<
	 ファン動作中は『F』と表示されます (表示例参昭)
	● 木機けとーターを搭載していたいため とーター動作中の表示けありませ

表示例



表示される値の解釈については14ページの「2.6 オンスクリーン表示」の説明もご確認ください。

参照→14 ページ

3.4.2. カメラの設定

CAMERA SETTINGS ではカメラレンズの動作や撮影条件に適した画質の調整等を実行する事が出来ます。



項目	説明
FOCUS	 オートフォーカス(自動焦点)の動作条件を選択します。 HAF: 起動直後と PTZ 操作の直後、及びデイモードとナイトモードの切り替え直後にオートフォーカスが動作します。被写体の動きなどによってフォーカスが合わなくなった時は、フォーカス 遠 近 ボタンを操作して手動でフォーカスを合わせます。(初期値) MF:常にフォーカス 遠 近 ボタンでフォーカスを合わせます。 AF:常にフォーカスを自動で合わせます。
	く注意> 「MF」に設定している場合、カメラを再起動した後、再起動前の状態には戻りません。再起動後にはフォーカス及びズームの調整が必要です。
ZOOM LIMIT	 ズームの最大倍率を設定します。 25:光学ズームのみを使用して 25 倍のズーム倍率で動作します。(初期値) 50:光学 25 倍×デジタル 2 倍の 50 倍のズーム倍率で動作します。 100:光学 25 倍×デジタル 4 倍の 100 倍のズーム倍率で動作します。 200:光学 25 倍×デジタル 8 倍の 200 倍のズーム倍率で動作します。 400:光学 25 倍×デジタル 16 倍の 400 倍のズーム倍率で動作します。
ZOOM SPEED	ズームの速さを3段階で調整します。 <u>HIGH</u> :高速(初期値) MEDIUM:中速 L O W:低速
SLOW SHUTTER	 夜間にシャッタースピードを遅くする事で暗い環境でのカラー撮影を実現します。(設定範囲: 0 ~ 5 初期値: 0) < 注意 > 低速シャッターの状態では動きのある被写体は流れた映像になります。
DAY/NIGHT	<無効> 本機はデイ/ナイト自動切換えを解除する事は出来ません。 ▲UTO:本機は、日中はカラー撮影、夜間は赤外線による白黒撮影で動作します。(変更不可)
D/N SENSITIVITY	<予定機能> 設定を変更しないでください。(初期値: <u>1</u>) 同様の機能が必要な場合は「3.4.3LED パラメータ設定」の設定をご利用くだ さい。
SHARPNESS	映像の輪郭強調の程度を調整します。値が大きいほど輪郭強調が強くなりま す。(設定範囲: 0 ~ 15 初期値: <u>7</u>)

項目	説明
BLC/WDR	BLC(逆光補正)またはWDR(ワイドダイナミックレンジ)のオンとオフを
	切り替えます。本機は WDR のみをサポートしています。
	<u>OFF</u> : WDR 機能を使用しません。
	ON: WDR 機能を使用します。
BLCIEVEL	<無効> 本機は BLC 機能を持たないため使用出来ません。
BLC LEVEL	<u>N/A</u> :変更不可
	露出調整の動作を選択します。
	<u>AUTO</u>: 適正露出になるよう、絞りとシャッタースピードをカメラが自動
	的に調整します。(初期値)
	I R I S: 絞りを一定の値に固定した状態で適正露出になるよう、シャッタ
	ースピードをカメラが自動的に調整します。(絞り優先)
	SHUTTER:シャッタースピードを一定の値に固定した状態で適正露出になる
EXP MODE	よう、絞りをカメラが自動的に調整します。(シャッタースピー
	ド優先)
	MANUAL: 絞りとシャッタースピードの両方を一定に固定します。
	< 注 意 >
	● 被写体の明るさの変化にカメラが自動的に適応出来る範囲は
	"AUTO"が最も広く"MANUAL"が最も狭くなります。特に必要な場
	合を除き "AUTO" での使用をお勧めします。
	"EXPMODE" が "MANUAL" またけ "IPIS" の場合に適田する絞り値を設定
	LAT MODE 1^{-1} MANUAL 1^{-10} 记录 10 3^{-10}
IRIS	
	● 本機の絞り値は「F値」とは無関係な独自の数値です。
	● 本磯の殺り値は値が大きくなるほど開口が大きく(明るく)なります。
	"EXP MODE"が "MANUAL" または "SHUTTER"の場合に適用するシャッ
SHUTTER	タースピードを設定します。(有効設定範囲: 30 ~ 2000 [1/秒])
	初期值: <u>50</u>
C + D I	"EXP MODE"が "MANUAL"の場合に適用するビデオアンプの利得を設定
GAIN	します。(0 ~ 15) 初期値: <u>1</u>
EVDOSUDE COMP	露出補正が出来ます。値が大きくなるほど映像は明るくなります。
EXPOSURE COMP	(設定範囲:0 ~ 14 初期值: <u>7</u>)

項目	説明
	ホワイトバランス調整の動作モードを次の中から選択出来ます。
	A T W :このモードでは、色温度に応じて、ホワイトバランスが調整され
	ます。(初期値)
	HAUTO:このモードでは、色温度に応じて自動的にカラーバランスを維持
	します。ATW や AUTO で大きな被写体の動きによってホワイト
	バランスが変化する事が気になる場合に、被写体の変化に対し
	て自動調整を遅らせる事が出来ます。
	A U T O:このモードでは、色温度に応じて自動的にカラーバランスを維持
	します。 照明の種類等によって ATW でホワイトバランスが合わ
	ない場合に試してください。
WDMODE	INDOOR:屋内撮影に適した設定とされています。
WB MODE	OUTDOOR:屋外撮影に適した設定とされています。
	SELFDEF:手動設定です。RED(赤) と BLUE(青) の値を変化させる
	ことによって緑に対する赤と青の強さを調整してホワイトバラ
	ンスを手動で設定します。
	<
	▲ 弊社の検証でけ ATW と AUTO の動作の違いけ確認出来ていません
	差はあったとしても軽微だと思われます。
	■ SFLFDFF は屋外のようか時間帯によって色温度が変化する環境での
	使用には適しません。また ホワイトバランスの手動調整には映像調
	軟に関すろー定程度の知識と技能が必要です。
RED	WB MODE で SELFDEF を選択した場合の緑に対する赤の強さを調整しま
RED	す。(調整範囲:0 ~ 255 初期値: <u>64</u>)
DLUE	WB MODE で SELFDEF を選択した場合の緑に対する青の強さを調整しま
BLUE	す。(調整範囲:0 ~ 255 初期値: <u>64</u>)
	映像の上下左右を反転します。上下または左右を個別に反転する事は出来ま
IMAGE FLIP	せん。
	<u>OFF</u> :映像の上下左右を反転しません。(初期値)
	ON:映像の上下左右を反転します。
FOCUSIN	フォーカス(焦点)を合わせる事が出来る最短距離を 1CM 30CM 1M 3M 5M
FOCUS LIMIT	AUTO から選択出来ます。(初期値: <u>5M</u>) [単位:M=メートル]

項目	説明
2D DNR	周辺画素との相関性を利用したノイズ低減機能の効果の強さを調整します。 この方式は、ノイズ低減効果はあまり高くありませんが、映像の動きによる 解像度低下が少ない特徴があります。ただし、被写体の動きの程度に関係な く、コントラスト比の少ない映像はノイズとみなされるため、コンクリート
	ペアスファルトの表面のようなさらさらした映像は動きか無くても再現しに くくなります。 (設定範囲:OFF <u>1</u> ~5 初期値: <u>1</u>)
3D DNR	前後のフレーム(コマ)との相関性を利用したノイズ低減機能の効果の強さ を調整します。この方式は、ノイズ低減効果が高く、止まっている被写体に 関しては画質が低下しにくい特長がありますが、動きのある被写体では画質 が低下しやすい欠点があります。 (設定範囲:OFF1 ~ 5 初期値: <u>4</u>)
MIN ZOOM LIMIT	ズームの最低倍率を <u>1.0</u> ~ 2.0 [倍] の範囲で制限する事が出来ます。 (初期値 : <u>1.0</u> [倍])
CHROMA SUPPRESS	<予定機能> クロマ抑制機能は、低照度時に彩度を下げるように制御する事で色ノイズを 低減する機能です。(設定範囲:0~3 初期値:2) < 情報 > 弊社の検証では、上記のような低照度時のクロマレベル制御動作は確認出 来なかったため、予定機能としております。
SATURATION	映像の彩度(色の濃さ)を調整出来ます。(調整範囲:0 ~ 7 初期値: <u>3</u>)
CONTRAST	映像のコントラスト(明暗比)を調整出来ます。(調整範囲:0~7弊社出 荷時設定: <u>1</u> 工場出荷時設定: <u>2</u>)
SCENE MODE	シーンモードでは、 <u>OUTDOOOR</u> と INDOOR を切り替える事で、映像に一 定の変化を与えます。(映像関連の設定値は変化しません) (初期値: <u>OUTDOOR</u>)
HLC	<予定機能> HLC 機能は、画像の暗い領域を明るくし、ハイライト領域を弱くします。 値が大きいほど効果が強くなります。(設定範囲: 0 ~ 3 初期値: 0) < 情報 > ● 弊社の検証では、ハイライト領域を弱くする効果は認められておりますが、暗い領域を明るくする効果は認められておりませんので、予定機能としております。

項目	説明	
	一般的に SHARPNESS の値を大きくすると輪郭だけでなく被写体のざらつ	
	きも強調されてしまいます。SHARPNESS COMP の値を上げると、輪郭以外	
SHARPNESS COMP	の強調を抑制する事で、すっきり見やすい映像を実現します。	
	(設定範囲:0 ~ 3 初期値: <u>2</u>)	
	この機能は、映像増幅器の利得を制限する事で、ノイズの少ない映像を実現	
	します。ただし、暗い環境での撮影ではシャッタースピードを遅く制御しな	
GAIN LIMIT	ければならなくなるので、値を下げると映像が流れやすくなります。	
	(設定範囲:0 ~ <u>15</u> 初期値: <u>15</u>)	
	この機能は、霧で白く霞んだ映像を見やすく補正する事が出来ます。	
DEFOG	<u>OFF</u> :霧補正機能を無効にします。(初期値)	
	ON:霧補正機能を有効にします。	
	1日に1回午前0時にレンズのズームとフォーカスの基準位置を初期化しま	
INIT I ENIS	す。	
INII LEINS	OFF: 定期的なレンズの初期化を実行しません。	
	ON :定期的なレンズの初期化を実行します。	

3.4.3. LED パラメータ設定

	< 注 意 >
۹	LED SETTINGS の設定を変更した場合は、最後に REBOOT DOME を実行して本機を再起動す
	るようにしてください。再起動を実行しなかった場合、変更が反映されなかったりデイナイト
	自動切り替え機能が正しく動作しなくなったりする事があります。

本機は夜間の赤外線撮影用の照明として赤外発光 LED を持っています。LED SETTINGS では、それら を利用した赤外線撮影に必要な設定が出来ます。また、一部デイナイト自動切換え機能に関する設定も 含んでいます。



項目	説明	
	赤外 LED を発光させる閾値(デイモードとナイトモードの切り替え)を決める 感度を選択します。	
SENSITIVITY	LOW: デイモードとナイトモードの切り替え閾値を明るめにします。(初 期値)	
	MEDIUM:デイモードとナイトモードの切り替え閾値を中間にします。	
	H I G H: デイモードとナイトモードの切り替え閾値を暗めにします。	
N/M LED CURRENT	中・近距離用 LED の明るさを調整出来ます。(設定範囲 : 1 ~ <u>10</u> 初期値 : <u>10</u>)	
FAR LED CURRENT	遠距離用 LED の明るさを調整出来ます。(設定範囲:1 ~ <u>10</u> 初期値: <u>10</u>)	
	中・近距離用 LED と遠距離用 LED を切り替えるズーム倍率を 2~10 [倍] の範	
	囲で調整出来ます。(初期値: <u>2</u>)	
LED CONTROL	 ^{AII} C W^{AIE} H (A & 7) (1007) HE · ^A/₂ ^{AII} ^{AII} ホ (A) (1007) HE · ^A/₂ ^{AII} ^{AII} ホ (A) (1007) HE · ^A/₂ ^{AII} ^{AII} ホ (A) (1007) HE · ^A/₂ ^{AII} ^{AII} ホ (A) (1007) HE · ^{AII} ^{AII} ^{AII} ^{III} C R : 周囲の明るさとカメラのズーム倍率に応じて、赤外 LED を自動的 に点灯します。 FAR ON : 遠距離用の赤外 LED を点灯します。 NEAR ON : 中 · 近距離用の赤外 LED を点灯します。 CLOSE : < 設定禁止> 赤外 LED を消灯します。 CLOSE はデイナイト自動切り替え動作が不確実になる現象を確認し ておりますので、設定はお控えください。 	
SWITCH DELAY(S)	□ 遠距離用赤外 LED と近距離用赤外 LED を自動切換えする場合の遅延時間を 1 ~10 秒の範囲で設定できます。(初期値:2秒)	
SMART IR	IR 撮影の映像が明る過ぎる場合に、値を大きくする事で白飛びを抑えます。 (設定範囲: <u>0</u> ~ 15 初期値: <u>0</u>)	
DISTANCE	<予定機能>設定を変更しないでください。(初期値: <u>DEFAULT</u>)	

3.4.4. モーション設定

MOTION SETTINGS では、PTZ 動作に関する設定をすることが出来ます。

MAIN MENUS → DOME SETTINGS → MOTION SETTINGS



項目	説明	
	オートフリップ機能は、手動によるチルト動作が真下に達した時点で自動的	
	に 180° パンを実行する事によって真下を通過する被写体の追尾を支援する	
AUTO FLIP	機能です。	
	OFF:オートフリップ機能を無効にします。	
	<u>ON</u>:オートフリップ機能を有効にします。(初期値)	
	プロポーショナルパン機能は現在のズーム倍率に応じてパンチルトのスピー	
	ドを自動的に増減する事が出来ます。ズーム倍率が低い場合は高速に、ズー	
PROPORTIONAL PAN	ム倍率が高い場合は低速に制御します。	
	OFF:プロポーショナルパン機能を無効にします。	
	<u>ON</u>: プロポーショナルパン機能を有効にします。(初期値)	
	パークタイムは、本機の操作をしなくなってからパークアクションを実行す	
	るまでの時間を <u>5</u> ~720 秒の範囲で設定します。(初期値: <u>5秒</u>)	
	< 注 意 >	
PARK TIME	PTZ 操作をしなくなってからパークタイムが経過した後でも、以下の場合	
	にはパークアクションは実行されません。	
	● 特別なプリセットが呼び出された事によるドームアクションの動作	
	中	

項目	説明	
	パークアクトは、本機の PTZ 操作をしなくなってから一定時間(パークタイ	
	ム)が過ぎると、ここで選択したパークアクションを実行する事が出来ます。	
	実行可能なパークアクションは、次の通りです。	
	<u>NONE (無し)</u> (初期値)	
	PAN SCAN (パンスキャン)	
	TILT SCAN(チルトスキャン)	
PARK ACT	PANORAMA (パノラマ)	
	PATROL-D (パトロール-D)	
	PATROL (パトロール) 1~10	
	PATTERN (パターン) 1~5	
	PRESET(プリセット)1~8	
	DAY MODE(デイモード)	
	NIGHT MODE (ナイトモード)	
	スキャンスピードは、パンスキャン、チルトスキャン、およびパノラマスキ	
SCAN SPEED	ャンの1秒あたりのスキャン角度を指定します。	
	調整範囲は 1~40 で、値が大きいほど速くなります。(初期値:28)	
	プリセットフリージング機能は、プリセットへ移動中に、出力する映像を移	
	動前の状態で静止画にすることが出来ます。カメラのパン、チルト移動が完	
DDEGET DDEEGDIG	了した段階で映像は再開されます。(ズームアップ、ダウン時の映像は出力さ	
PRESEI FREEZING	れます。)	
	OFF : プリセットフリージング機能を無効にします。(初期値)	
	ON : プリセットフリージング機能を有効にします。	
	手動操作によるパン、チルト動作の速度を 1~10 の範囲で調整出来ます。値	
DOME SPEED	が大きいほど速くなります。(初期値: <u>4</u>)	
DDECET CDEED	プリセット呼出時のパン、チルト動作の速度を1~8の範囲で調整出来ます。	
PRESET SPEED	値が大きいほど速くなります。(初期値: <u>4</u>)	
	撮影範囲制限機能は、パン、チルトの移動範囲を制限する事が出来ます。	
	<u>OFF</u> :撮影範囲を制限しません。(初期値)	
	ON:撮影範囲を制限します。	
ENABLE LIMIT	< 注 音 >	
	● この機能を利用するには、LIMITS SETTINGS (撮影制限範囲)を設	
	定すろ必要があります。(設定されていたい場合制限されません)	
I MITS SETTRIC	撮影範囲制限機能で制限する上下左右の撮影範囲を設定出来ます。詳細は	
	「3.4.4.1 撮影制限範囲の設定」をご覧ください。 参照→34 ページ	
CLEAR LIMITS	撮影範囲を制限する位置の設定を削除出来ます。詳細は「 3.4.4.2 撮影制限範	
CLEAR LIVITIS	囲の削除」をご覧ください 参照→35ページ	

項目	説明	
SET ELEVATION	 通常では、本機のチルト動作範囲は真下(チルト角 90°)~真横(チルト角 0°)ですが、エレベーション機能を有効にすると、チルト角を真横より上側に向ける事が出来るようになります。 OFF:エレベーション機能を無効にします。(初期値) ON:エレベーション機能を有効にします。 	
	 弊社の検証では、エレベーション機能によって拡張できる上限は、おおよそチルト角-15°までです。(仰角 15°) 上記の角度は、おおよその値です。製造上の都合等により、多少異なる可能性があります。 	
< 情報 >		

● AUTO FLIP の速度には PRESET SPEED が適用されます。

3.4.4.1. 撮影制限範囲の設定

撮影制限範囲の設定は次の手順で実行します。

- ① 「MOTION SETTINGS」メニューの「LIMITS SETTING」から アイリス開 を押す
- ② 「SET LEFT LIMIT」が表示されたら左右方向ボタンで移動制限する左端にカメラを向ける
- ③ アイリス開 ボタンを押す
- ④ 「SET RIGHT LIMIT」が表示されたら左右方向ボタンで移動制限する右端にカメラを向ける
- ⑤ アイリス開 ボタンを押す
- ⑥ 「SET UP LIMIT」が表示されたら上下方向ボタンで移動制限する上端にカメラを向ける
- ⑦ アイリス開 ボタンを押す
- ⑧ 「SET DOWN LIMIT」が表示されたら上下方向ボタンで移動制限する下端にカメラを向ける
- ⑨ アイリス開 ボタンを押すと元の「MOTION SETTINGS」メニューに戻ります



3.4.4.2. 撮影制限範囲の削除

撮影制限範囲の削除は次の手順で実行します。



② アイリス開 ボタンを押すと元の「MOTION SETTINGS」メニューに戻ります

く注意 > ②の手順で アイリス閉 ボタンを押すと、削除を中断して「MOTION SETTINGS」メニューに 戻ります。

3.4.5. プリセットの設定

PRESETS メニューでは、プリセット位置の登録・変更及び削除が出来ます。

< 情報 >
● 弊社 IRV シリーズのレコーダをご使用の場合、プリセット位置の登録と変更は、本機のメニューに入らなくても DVR の PTZ メニューにある プリセット登録 ボタンでモニタリング状態から直接実行する事も出来ます。(削除は出来ません)

MAIN MENUS<mark>→DOME SETTINGS</mark>→PRESETS



PRESETS メニューに入ったときは「PRESET NO 1」が選択された状態になっています。

3.4.5.1. プリセット位置の登録と変更

① 「PRESET NO」を選択した状態で アイリス開 を押すとカーソルが◆から◇に変わる





③ カーソルが◇から◆に戻った事を確認し、メニューの2行目に「<UNDEFINED>」(未定義)と表示 されている事を確認する



⑤ 次図の画面が表示されたら上下左右方向ボタンでカメラを撮影したい向きに合わせズームボタン で倍率を合わせます。

- ⑥ 撮影アングルが決まったら アイリス開 を押す
 登録を中止する場合は アイリス閉 を押します。
- ⑦ PRESET メニューに戻ったら「<UNDEFINED>」の行が「<PRESET #>」になっている事を確認する(「#」はプリセット番号の数値)



3.4.5.2. プリセット削除

「PRESET NO」を選択した状態で アイリス開 を押すとカーソルが◆から◇に変わる (1)◆PRESET NO <UNDEFINED > SET PRESET CLEAR PRESETS ◇PRESET NO. <UNDEFINED > SET PRESET CLEAR 1 1 BACK EXIT ВАСК EXIT ② 上下方向ボタンでプリセット番号を選択し アイリス開 を押す PRESETS ◆PRESET NO. <PRESET > SET PRESET CLEAR PRESET NO VNDEFINED > SET PRESET CLEAR 2 2 (1)\$ BACK EXIT ВАСК $\mathsf{E} \mathsf{X} | \mathsf{T}$ ВАСК EXIT 上下方向▲▼ボタンで プリセット番号を変更 ③ カーソルを「CLEAR」に移動し アイリス開 を押す PRESETS PRESET 2 NO. <PRESET2 SET PRESET CLEAR > BACK EXIT ④ 次図の画面が表示されたら アイリス開 を押す。 IRIS+ OK IRIS- CANCEL 削除を中止する場合は アイリス閉 を押します。 ⑤ PRESET メニューに戻ったら「<PRESET #>」の行が「<UNDEFINED>」になっている事を確認す る(「#」はプリセット番号の数値)



3.4.6. パトロール機能の設定(別名:ツアー)

パトロール機能はユーザー定義プリセットをグループ化して自動的に巡回します。本機には、パトロー ル用のグループが 10 あり、各グループに最大 32 のプリセット番号を割り当てる事が出来ます。



● 変更を保存して PATROL メニューに戻るには アイリス開 ボタンを使います。

● 変更を保存せずに PATROL メニューに戻るには アイリス閉 ボタンを使います。

列の説明

	列名	説明
		パトロールの順序を示す番号です。1~32まであり、番号の変更や順序の入れ替えは出
	NUM	来ません。
		パトロールするそれぞれの順序に割り当てるプリセット番号を選択します。選択可能な
	PST	番号は次の通りです。
		0, 1~32, 47~91, 97, 98, 107~255 初期値: <u>0</u> (0 は巡回しない事を示す)
		各巡回先で停止する時間を 15 ~ 800 [秒] の範囲(5 秒刻み)で指定する事が出来ま
	DWELL	す。
		初期值:20秒
		それまでの位置から"PST"で指定されたプリセット位置まで移動する時のパンとチル
	SPD	トのスピードを1~40の範囲で指定します。(ズームには適用されません。)
		初期值: <u>30</u>
3) パトロールする順(行)のプリセット番号を選択する	
	NUM P 1 2 3 4 5 6 7 1 R I S + OI	ST DWELL SPD 0 20 30 0 7 0 20 30

④ 停留時間を選択する









3.4.6.2. パトロールのプレビュー

PATROL NO. で選択したグループの巡回を試しに実行する事が出来ます。

① プレビューを実行するパトロール NO. (グループ番号)を選択する



3.4.6.3. パトロールの削除(巡回先リストの削除)

20S GRADE

EXIT

BACK

選択した PATROL NO. (グループ番号)の巡回先リストを全て削除します。

① プリセット番号を編集するパトロール NO. (グループ番号)を選択する



20S GRADE

EXIT

BACK

③ アイリス開 を押すと巡回先リストが削除される



削除を中止する場合は アイリス閉 を押します。

3.4.7. タイミングタスクの設定

タイミングタスクでは事前に設定された動作を特定の日時(曜日と時刻で指定)に実行する事が出来ま す。実行可能なタスクは最大で8回分です。



3.4.7.1. タスクの設定

本機は、最大8回分のタスクを設定して記憶する事が出来ます。タスクは次の手順で登録します。

① 「TASK NO.」(タスク番号)で アイリス開 を押す





選択可能な動作は次表の通りです。

(5)

名称	説明	
NONE	動作が選択されていません。(初期値)	
PAN SCAN	撮影方向を左方向に連続して移動させる動作を続けます。	
	チルト、フォーカス、ズームはスキャンが始まる直前の位置を維持します。	
THTSCAN	撮影方向を上下に繰り返し動かします。	
TILI SCAN	パン、フォーカス、ズームはスキャンが始まる直前の位置を維持します。	
	撮影方向を上下に繰り返しながら、左方向に連続させる動作を続けます。動作	
PANORAMA	としては PAN SCAN と TILT SCAN を同時に実行させている状態です。	
	フォーカス、ズームはスキャンが始まる直前の位置を維持します。	
PATROL-D	パトロールを順番に実行します。	
PATROL 1 \sim 10	選択した PATROLID のパトロールを実行します。	
PATTERN 1 ~ 5	選択した PATTERN NUM のパターンを実行します。	
PRESET 1 \sim 8	選択した番号のプリセットに移動します。	
DAY	露出条件に関わらずデイモードで撮影します。	
NIGHT	露出条件に関わらずナイトモードで撮影します。	
ZERO CALIBR	START TIME にパン、チルトの位置ずれ補正を実行します。	
上下方向ボタンで TASK TIME を選択し アイリス開 ボタンを押す		

TIMING TASKS TASK NO ENABLE †ASK TASK ACT PAN ◆TASK TIME TIMING TASKS TASK NO ENABLE TASK ♦TASK ACT PAN TASK TIME WEEK WHOLE WEEK OFF PAN SCAN PAN SCAN START (H-M) 00:00 \$ END (H-M) 00:00 IRIS+ OK IRIS- CANCEL TASK CLEAR TASK CLEAR ВАСК ВАСК EXIT E X + T

⑥ 上下方向ボタンで WEEK (曜日)を選択する



曜日の表記は次表の通りです。

表記	説明	表記	説明
WHOLE WEEK	全ての曜日(毎日)	WEDNESDAY	水曜日
SUNDAY	日曜日	THURSDAY	木曜日
MONDAY	月曜日	FRIDAY	金曜日
TUESDAY	火曜日	SATURDAY	土曜日

⑦ 右方向ボタンで START(H-M) の右側の項目「H」(時)を選択する



⑧ 上下方向ボタンで開始の「時」を増減して合わせる

WEEK FRIDAY START (H-M) 00:00 END (H-M) 00:00 IRIS+ OK IRIS+ OK IRIS - CANCEL

唱減し(合わせる			
N	WEEK	FRIDAY	
/L	START (H-M)	06:00	
	END (H - M)	00:00	
	IRIS+ OK IRIS- CA	NCEL	

⑨ 右方向ボタンで START(H-M) の右側の項目「M」(分)を選択する

\$



10 上下方向ボタンで開始の「分」を増減する



 ① 右方向ボタンで END(H-M) の右側の項目「H」(時)を選択する
 WEEK FRIDAY START(H-M) 06:10 END(H-M) 00:00
 RIS+ OK IRIS- CANCEL 12 上下方向ボタンで終了の「時」を増減する



- タスク実行中、直接 PTZ 操作をおこなった場合には、PTZ 操作が優先されます。
- タスク実行中に直接 PTZ 操作をおこなった後、30 秒経過するとタスクの実行を再開します。
- タスクの終了時刻は、タスクの実行状況によっては多少延長される場合があります。
- DAY または NIGHT 実行中に直接 PTZ 操作を実行した場合、直接 PTZ 操作の実行開始から実行終了の 30 秒後まではデイまたはナイトも解除されるので自動切換えになります。

3.4.7.2. タスクの削除

既に登録されているタスクを削除する場合は、次のように操作します。



① 「TASK NO.」(タスク番号)で アイリス開 を押す

② 上下方向ボタンで値を増減させてタスク番号を選択し アイリス開 ボタンで決定する



3.4.8. パターンの設定(別名:トレース)

PATTERNS は、パン、チルト、ズーム、およびプリセットを直接操作する動きを記憶し、直接実行したり、別の機能(アラーム、パーク、タイムタスク、および電源投入)によって自動的に実行したりする 事が出来ます。パターンは最高5つまで作成出来ます。

ВАСК

ЕХІТ

MAIN MENUS→DOME SETTINGS→PATTERNS				
MAIN MENUS DOME SETTINGS <system info=""> OME SETTINGS <cdome settings=""> PATTERNS> <restore settings=""> PATTERNS> <restore camera=""> PATTERNS> <reboot dome=""> VIDEO SETTINGS> LANGUAGE ENGLISH BACK EXIT</reboot></restore></restore></cdome></system>				
項目	説明			
PATTERN NO.	設定するパターンの番号を1~5から選択します。			
RECORD PATTERN	パターンの記憶を開始します。			
PREVIEW	記憶したパターンの動作を確認します。			
CLEAR	記憶しているパターンを削除します。			
	パターンの記憶に利用可能な残りのメモリー容量を表示します。単位は表示さ			
	れていませんが値は百分率 [%] (パーセント)です。			
KEWIAIINING	また、このメモリーはパターン 1 ~ 5 で共通使用されますので、値が 0 にな			
	ると新たな動作の記憶は出来なくなります。			

3.4.8.1. パターンの記憶



④ カメラを動かす

上下左右方向ボタンとズームボタン及びプリセット呼出で動かしたい順序と時間でカメラを動か します。



操作を続けると REMAIN MEMORY の値が 100 から徐々に減って行き 0 に達すると、それ以上 の記録は出来なくなります。

⑤ 一連の PTZ 操作が終わったら アイリス開 を押して記録を終了する



3.4.8.2. パターンのプレビュー

記録したパターンを試しに実行して動作を確認出来ます。

PATTER NO. で アイリス開 を押す



3.4.8.3. パターンのクリア

記憶しているパターンを削除します。

① PATTER NO. で アイリス開 を押す



③ 上下方向ボタンで CLEAR PATTERN を選択して アイリス開 を押す 削除の確認を求めるメッセージが表示される



3.4.9. プライバシーマスクの設定

PRIVACY MASK は、撮影したくない部分を長方形の範囲を指定して、その範囲の映像を灰色で塗り潰す機能です。マスクする範囲は合計8箇所まで登録する事が出来、個別にオン・オフ可能です。

MAIN MENUS→DOME SETTINGS→PRIVACY MASK

MAIN M <system in<br=""><coome sett<br=""><restore s<br=""><restore c<br=""><reboot doi<br="">LANGUAGE EXIT</reboot></restore></restore></coome></system>	ENUS FO> INGS> ETTINGS> AMERA> ME> ENGLISH BACK EXIT DOME SETTINGS OPATTERNS> AMERA> MASK NO MASK NO MASK STATUS OFF SET MASK DELETE MASK BACK EXIT BACK EXIT		
項目	説明		
MASK NO.	マスクする箇所を指定するための番号を 1 ~ 8 から選択します。		
MASK STATUS	MASK NO. で選択した箇所のマスク範囲を灰色で塗り潰すか塗り潰さないかを選択します。 OFF: MASK NO. で選択した箇所を塗り潰しません。(撮影映像が見える) ON: MASK NO. で選択した箇所を灰色で塗り潰します。(撮影映像が見えない) この設定は初期設定では OFF になっていますが、SET MASK で範囲が設定される と、自動的に ON になります。マスキングの必要が無い場合には、この設定を OFF にする事で、範囲の情報を削除することなく、マスキングを無効化出来ます。		
SET MASK	MASK NO. で選択した箇所のマスマスキング範囲を登録します。		
DELETE MASK	MASK NO. で選択した箇所のマスマスキング範囲を削除します。		



3.4.9.1. マスキング範囲の登録

MASK NO. で アイリス開 を押す



② 上下方向ボタンでマスク番号を選択する







③ アイリス開 を押すと MASK STATUS の状態が指定した MASK NO. の情報に変わる





④ 上下方向ボタンで SET MASK にカーソルを移動する



⑤ アイリス開を押すと、画面中央に赤い正方形が表示される





⑥ 上下左右方向ボタンでカメラを動かし、正方形がマスキングしたい範囲の中央になるようにする





⑦ 焦点 (フォーカス)の 遠 近 ボタンで ADJUST を POS から SIZE に変更する



⑧ 上下左右方向ボタンで中央の赤い正方形の縦横の長さを変更する(長方形にする)



ADJUST が MASK SIZE になっている場合の上下左右方向ボタンの機能は次表のようになります。

ボタン	動作の説明
上▲方向	マスキングする範囲を上下方向に広げます。
下▼方向	マスキングする範囲を上下方向に縮めます。
左◀方向	マスキングする範囲を左右方向に縮めます。
右▶方向	マスキングする範囲を左右方向に広げます。

⑨ 赤い長方形の上下左右が、マスキングしたい範囲をカバーしたか確認する



ADJUST は、フォーカス 遠 近 ボタンの操作を 繰り返す事で MASK POS と MASK SIZE を交 互に繰り返し切り替える事が出来ます。 これにより、赤い長方形の位置とサイズを、隠し たい範囲に合わせます。

10 アイリス開 ボタンでマスキング範囲を保存する



範囲を保存すると、マスキングされる範囲が少し広くなり、赤色から灰色に変化します。

3.4.9.2. マスキング範囲の削除

記憶しているマスキング範囲を削除します。





削除を中止する場合は アイリス閉 を押します。

3.4.10. ゾーン設定

<予定機能>

この機能は現在開発中の機能です。取扱説明書執筆時点では本来の役割を果たしておらず、一時的にフ ォーカスが合わなくなるなどの不具合が確認されております。使用しないでください。

3.4.11. ビデオ設定

VIDEO SETTINGS では、映像出力に関する設定が出来ます。

MAIN MENUS→DOME SETTINGS→PRIVACY MASK



項目	説明
VIDEO STED	出力映像信号の垂直周波数を切り替えます。
	<u>1080P/30</u> :解像度 1080P(2M Pixel)の垂直周波数 30Hz の映像信号を出力します。
	(初期值)
	1080P/25:解像度1080P(2M Pixel)の垂直周波数25Hzの映像信号を出力します。

< 注 意 >

日本国内では標準テレビジョン方式として NTSC 方式が採用されておりますので 1080P/30 でご使用ください。

3.5. その他

3.5.1. 全設定の初期化

RESTORE SETTINGS では、本機の全設定(DOME SETTINGS 内)を工場出荷状態に戻します。 MAIN MENUS→RESTORE SETTINGS



3.5.2. カメラ設定の初期化

RESTORE CAMERA では、本機の CAMERA SETTINGS 内の設定を工場出荷状態に戻します。

MAIN MENUS→RESTORE CAMERA



3.5.3. 再起動

REBOOT DEME では、本機を再起動します。

MAIN MENUS→REBOOT DOME



輸入卸元

有限会社 インターラック

〒880-0951 宮崎県宮崎市大塚町窪田 3249-1

TEL: 0985-55-0752

FAX: 0985-55-0815

http://www.interluck.co.jp

問い合わせ先販売店